

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272501412		
法人名	社会福祉法人もみじ会		
事業所名	グループホームにこにこプラザ六戸		
所在地 (電話番号)	〒033-0071 青森県上北郡六戸町犬落瀬字権現沢54-767 (電話) 0176-70-1100		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 22日	評価確定日	平成 19年 12月 22日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 26日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 9月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 0人, 常勤換算	14.6人

### (2) 建物概要

建物構造	薄板軽量形銅造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり		1,000円	

### (4) 利用者の概要( 9月 26日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	8 名	要介護4	5 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	85.3 歳	最低	74 歳
		最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	六戸国民健康保険病院
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理念が職員に浸透しており、理念にある個別性を尊重した利用者主体の対応がなされている。職員には笑顔があり、言葉使いに重点をおいた対応を心がけており、自然な対応がされていた。入居者の部屋の目印として、入居者の目線に合わせた見やすい工夫がされており、装飾は利用者の手作り作品がきれいに飾られている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>併設のデイサービスと合同の行事があるため、合同の広報誌としているが、それぞれの部署の内容が分かりやすいよう工夫し作成された。地域の行事に積極的に参加したり、運営推進会議で率直な意見がもらえるよう、又、地域とのつながりがとれるよう会議の内容を検討し行っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>会議で説明され、管理者・職員とで話し合い作成された。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>家族からの意見や防災に関する依頼など、運営推進メンバーからの意見などを持ち帰り、事業所内での会議で話し合わせ、業務に反映されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時、入居者の状況を報告するだけでなく、家族から思いを気軽に何でも話していただけるように働きかけている。家族からの意見等は、記録しておき、日々のミーティングで話し合う等、全職員で取り組む体制が出来ている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームの行事に遊びにきてもらったり、地域の行事にも遊びに行ったりするなど地域との交流が積極的に行われている。その他にも、随時ボランティアの受け入れも行っている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個別性を尊重し、馴染みのある人の中で安心して暮らしてもらいたいという思いでの独自の理念が作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングで唱和し、意識付けを行っている。また、日常のサービス提供や、問題解決の際に、理念に基づいて考える取り組みがなされている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の行事等の際、入居者の行き来があり、また職員が余興に参加している。近隣の高校生によるワックス掛けや小学生による夏祭りの手伝い等、ボランティアの受け入れがある。また、広報誌を、役場、病院、公民館に置いてあり、地域への貢献・発信がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者を含めた定期的会議の場に於いて、評価についての話し合いがされている。改善点は全員で意見を出し合い、日々の中で見直ししながら質の向上に努めている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、家族からの意見の公表、災害対策に関する協力要請等がされている。サービス向上に向けた率直な意見をもらえるよう議題、内容に配慮し、開催されている。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長が中心となり、市町村担当者と施設状況や入退所状況などの情報交換を行っている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者レベルでの知識として持ち合わせている。		全職員へ向けての勉強会や職員全体が理解し対応できることを目標に取り組みすることに期待したい。
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルがあり、その他、研修への参加もあり、参加職員から、他職員への伝達講習会を実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時、口頭、文書にて説明しており、疑問に対しても十分に説明を行い同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時を利用したり、遠方に居る家族へは手紙を出したりする等、家族の状況に合わせて報告している。また、広報誌も、同様にして配布されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時の会話の中で、意見を言ってもらえるよう伝えられている。その中で得た内容は、申し送りに記入し、更に話し合いを設けサービスに反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動時には、入居者、家族へ報告し、新職員の紹介を行っている。異動は、隣接しているデイとの異動が殆どであり、顔の見える場所にあり、合同行事の際など交流もできている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員経験年数等レベルに合わせた事業所内外の研修機会を、全職員に作っており、その後、施設内で伝達講習を実施している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他機関での研修を受講しており、新しいことの吸収と、自施設の振り返りにつながり、個人のレベルアップとサービス向上に活かされている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>会話を多く持つことを基本にしており、入居者の中に顔見知りの方がいる場合もあり、職員が間に入り、一緒にお話する等して心を開ききっかけをつくっている。また、場合によっては家族に相談し、馴染めるよう工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人のペースに合わせた対応を心掛けており、時間がかかっても、入居者が納得した上で行えるようにしている。又、本人の意向をつかむために、入居者の発するサインに気付けるよう意識して接している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話の中から意向を聞き取り、又、一人一人の生活暦、行動パターン等から、意向を汲み取り把握できるように努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃のかかわりの中から本人、家族の意向を聞き、家族や医療関係者等の意見を反映させた介護計画が作成されている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の変化を見逃さないよう、表情や生活パターン等の観察に努めている。変化が見られた時は、随時、職員で話し合い、月1回のカンファレンスでプラン作成をしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	買物や病院受診等、本人や家族の希望に合わせた対応がされている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院は、地元の総合病院で、多くの方に馴染みがあり、多様な科が総合されていて安心と、本人、家族の納得のもと受診されている。その他、希望する病院の受診対応も行なっている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居契約時に、方向性の確認がとれている。現在、医師、訪問看護、家族と報告、相談しながら対応しているケースがある。関連の勉強会に参加し、マニュアルは現在作成中で、ほぼ完成に至っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	相手を尊重することを念頭に置き、中でも「言葉かけ」に重点をおいて対応している。日々の中で、振り返りも職員間で行われており、意識統一がされている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	認知症、個別性を念頭に、各自のペースに合わせることに、小さなサインに気付くこと、納得した上で行えるよう気長に見守ることに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>季節の野菜を取り入れたメニューで、買い物と一緒に行われている。押し付けにならないよう、出来ることをその時の状態に合わせて手伝ってもらい、ゆったりと本人のペースで食事できている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週4回と設定はしているが、各自入浴希望や状態に合わせた対応がされている。入浴剤に変化をつけ楽しみも加えている。入浴を拒否される入居者には家族に相談し協力いただいている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>鯉にえさをあげる、テーブルを拭くなどされており、うまく出来ないところは、なにげなく職員が手助けしている。手作り作品はきれいに飾られており、意欲を引き出すような言葉掛けがされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>希望があった時以外にも、天候や利用者の気分、体調に合わせて散歩に誘う等、気分転換を図っている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>拘束をしないケアの重要性を勉強会をととして理解されており、全員への周知もされている。皮膚疾患の方へは引っかけないよう患部をおおうことで対応し、拘束のないケアに努めている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間の21時～7時以外の施錠は行っておらず、ユニットの中央に玄関があり、玄関が見える所にスタッフルームが位置している為、日中は一人一人の行動パターンを認識し見守りを徹底、ユニット間での声掛けも行われている。今後、更なる予防対策を考案中。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルが作成されており、職員で構成された防災委員会が中心となり、定期的な避難訓練が実施されている。運営推進会議でも協力要請をしている。</p>		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士、医療機関のアドバイスのもと、状態に合わせた季節感のある食事が提供されており、食事状態、摂取量もチェックされている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症についての勉強会を行っており、玄関に消毒液を設置、家族共に予防に努めている。又、備品、食器等も1日1回消毒し、予防を徹底している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の好きな音楽が流れており、入居者の作品がきれいに飾られていた。四方の景色が見られ、入居者は自由に往来し、思い思いの所で過ごされている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物の持ち込みや、家具の配置、飾りなど、それぞれの好みに合わせた室内が家族と共に工夫して作られている。		

 は、重点項目。